

第254回研究科委員会・第365回教員会議 議事要録

日 時：令和6年2月14日（水） 研究科委員会12：50～13：30／
教員会議13：35～15：25

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

1. 地域未来デザインセンター

(1) MASPで行っている起業活動支援GAPファンドの募集について

資料8に基づき、起業活動支援GAPファンドの募集概要について説明があった。

[審議事項]

1. 研究科長

(1) FREA 客員教員について（大学院指導資格、福島大学の連絡教員）

資料1及びプロジェクター投影に基づき説明があった。資料1の通り3名から応募があった。内訳は、客員教授1名、客員准教授2名である。福大側では連絡教員を配置するが、それは後ほど決定する予定である。それぞれの教員について学歴・職歴の紹介があった。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和6年度学修案内について（連携大学院方式について）

資料2に基づき、次年度から学修案内について追記する内容について説明があった。対象機関はFREAである。理工学専攻のみが対象で、環境放射能学専攻は対象になっていない。秋入学もいずれ対象になる可能性がある。前期及び後期課程について、履修パターン、研究指導体制、履修基準について説明があった。FREAの指導教員は前期・後期課程ともに主査にはなれない。次に、資料2-2及び2-3について、前期・後期課程の学修案内における追記案について説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(2) 教務関係取扱要項等の一部改正等について

資料3に基づき、教務関係取扱要項等の改正（5件）及び申し合わせの制定（1件）について、それぞれ内容の説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。研究科長から、3月にFREAの客員教員向けに説明会を予定しているとの発言があった。

(3) 令和6年度非常勤講師計画について

資料4について説明があり、57番（授業科目名：サイエンスコミュニケーション）について申請があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(4) 令和6年度9月修了博士論文最終試験日程について

資料5に基づき、2名の学生が対象となっているとの説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

3. 国際交流センター

(1) 特別研究学生の受入期間延長について

資料6に基づき、1名について半年間の延長が申請されたとの説明があった。延長の理由は、環境研での研究を継続する必要があるためである。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第105回全学教務協議会について

(報告事項)

- ・令和6年度シラバス点検について

資料7に基づき、シラバス点検のスケジュールについて説明があった。

2. 学生生活委員会

(1) 学生表彰審査について

資料はなく、口頭で説明があった。修士論文の審査委員に対して、昨年同様に優れた学生を選考するための評価をお願いしたい。修士論文ならびに修士研究発表会の内容・質疑応答について評価いただき、グーグルフォームにて記載・回答をお願いしたい。締め切りは2月20日である。

◆教員会議◆

最初に、学類長から2月より支援室配属となった職員の紹介があった。

[審議事項]

1. 学類長

(1) 人事委員の選出について (選挙)

最初に、学類長から選挙について説明があった。その後投票が行われ、得票数上位3名が選出された。

(2) 教員の昇任について

1) 教員資格調査委員会の調査報告について

最初に、3つの資格調査委員会からそれぞれ報告があった。調査の結果、3つの資格調査委員会は候補者について研究業績、教育実績、大学運営、社会貢献、その他の実績に基づき、教授に適合すると判断した。

2) 昇任候補者の決定について (投票)

上記の報告を踏まえ、候補者3名の昇任について投票を行った。投票の結果、3名の教授昇任が承認された。

(3) 研究員 (プロジェクト) の任用について

資料9に基づき、継続申請について説明があった。人事委員会にて確認しているとの説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(4) 客員教員の任用について

資料10に基づき、客員教授10名 (新規1名)、客員准教授5名 (新規2名) が申請されたとの説明があった。新規分についてはプロジェクトにて学歴や職歴、業績等の資料が投影された。質問等はなく、提案通り承認された。学類長から、客員教員において年齢が70歳を超えた方の申請があるが、全学の非常勤講師も上限70歳を目安にしていることから、今後のご配慮いただきたいとの付言があった。

(5) 客員研究員の任用について

資料11に基づき、17名が申請 (新規6名) されたとの説明があった。新規分についてはプロジェクトにて学歴や職歴等の資料が投影された。一部の教員から、申請した分がリストに掲載されていないとの発言があった。学類長から、これらについては確認するとの回答があった。

(6) 特任教員の任用について

資料12に基づき、継続申請について説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(7) 情報基盤センター教員の学類授業担当について

最初に学類長から、情報基盤センター所属教員の理工学類における授業担当について、学術情報・大学間連携担当副学長から検討依頼があったとの経緯が報告された。それを受けて、学類執行部、人事委員会、及び将来構想委員会で議論し、結論としては担当いただくこととして進めたい。ただし、所属は現在のままで物理・システム工学コースの授業を担当いただき、従来の基盤教育科目（情報リテラシー2コマ分）はそのまま継続して担当する、との条件とする。これを受けて分野長を通じて当該コースに検討をお願いしたところ、分野としては歓迎するとの回答であった。しかし、令和6年度からの担当はスケジュール的に難しいので、来年度は学生実験など可能なところから担当していくことが望ましいと考えている、との説明があった。教授から、将来的には研究室配属は考えているのか、との質問があった。学類長から、それは考えているとの回答があった。教授から、来年度から配属するのかなどの質問が出された。学類長からは、来年度の配属は考えていないとの回答があった。これらの質疑の後、提案通り承認された。

(8) 令和6年度非常勤講師計画について

資料4に基づき、7番（職業指導）、8（工業課教育法）、13（特別支援教育基礎）について提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和6年度一般選抜志願状況について

前期日程141名（倍率2.0倍）後期日程365名（倍率8.7倍）となったことが報告された。隔年現象で今年は昨年に比べて倍率が下がった。前期日程について、理科の選択内訳は物理88名、化学40名、生物13名である。後期日程については、食農学類志願者のうち数学選択者が119名いるとのことである。

2. 教務委員会

(1) 学生の退学及び除籍について

プロジェクター投影により、退学1名、除籍1名の報告があった。

(2) 第105回全学教務協議会について

(報告事項)

・令和6年度以降の教職科目開講セメスター及び時間割について
資料13に基づき、教職科目の時間割が決定したとの報告があった。

3. 奨学寄附金の受入について

奨学寄付金2件、受託研究1件を受入れたことが報告された。

◆教育研究評議会◆

○第410回（1月18日書面開催）報告

(1) 【報告】役員給与規則の一部改正について

資料1に基づき説明があった。

(2) 【報告】就業規則の一部改正について

資料2に基づき説明があった。

○第411回（1月30日開催）報告

(1) 【審議】第4期中期目標・中期計画の変更について

資料1に基づき、令和6年度から募集停止となる研究科の変更について文科省に申請したことが報告された。

(2)【審議】福島大学における生成AI利用ガイドラインについて

資料2に基づき、利用ガイドラインについて説明があった。教育の観点、研究の観点、個人情報等への対応、業務の観点についてそれぞれ紹介された。解説付きの資料もあるので併せて確認してほしい。

(3)【報告】学内諸規則等の制定について（国立大学法人福島大学運営組織に関する規則）

資料3に基づき、理事、副学長の員数について記載が改正されたことが報告された。

(4)【報告】福島大学研究データ管理・公開ポリシー及び解説の制定について

資料4に基づき、趣旨や定義等について説明があった。解説付きの資料もあるので併せて確認してほしい。

(5)【報告】令和6年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の算定の考え方等について

資料5に基づき説明があり、研究実績は全国と同じグループ内でこれまでと同様下位にいる。詳細については別途資料を確認してほしい。

(6)【報告】韓国農漁村公社農漁村研究院との学术交流協定締結について

資料6に基づき、食農学類の先生が窓口となり協定が締結されたことが報告された。

(7)【報告】国立大学法人東北大学と福島大学とのクロスアポイントメント制度に関する協定書の締結について（継続）

当該協定書は昨年からの継続であることが報告された。

(8)【審議】理工学群共生システム理工学類の収容定員の変更について

資料8に基づき、高度情報専門人材の採択により、令和7年度より学生収容定員が160名から200名に増員されることが承認されたとの報告があった。

(9)【報告】学士課程改革の中間総括について

資料9に基づき説明があった。この中で、理工学類に対する全学執行部からの意見が紹介された。学類（学部）名称等や研究分野の精選、他学類との連携等である。その他、スケジュールを含めた今後の進め方の報告があった。

(10) その他情報共有等
なし

◆運営会議◆

○第194回（1月16日開催）報告

(1)【報告】令和6年度予算（案）の伝達等について

資料1-3の理工学類に関連する部分について、設備概算において当初より3割減の9100万円となったことが報告された。資料1-7は財務課作成の資料であるが、詳細について確認してほしい。

(2)【報告】令和4年度会計検査院決算検査報告説明会について

資料2-2のリストについて説明があった。阪大、旭川医大の事例が紹介された。

(3) その他情報共有等
なし

○第195回（2月6日開催）報告

(1)【報告】令和4年度福島大学（大学院）就職率に関する分析結果について

資料1-1について、大学院生の就職率について報告があった。理工学研究科は9割を超えていることが紹介された。

(2)【情報共有】本学の教授比率、女性教員比率、女性管理職比率について

資料2-1について、法人化直後と現在の比較、他大学との比較などについて説明があった。教授割合は法人化直後より増えているが、これは母数が減った影響である。また、若手研究者の減少も要因である。資料2-2について、女性教員比率、女性管理職比率についての説明があった。主要指標の紹介、女

性の比率が周辺大学の中でも低いことが紹介された。

(3) その他情報共有等

人間発達文化学類から、家庭科の免許取得を停止することが報告された。教授から、いつから停止するのかとの質問が出された。学類長から、令和7年度入学生から募集しないとの回答があった。

以上